



4 事業の評価

| 評価基準                  |   |               |   |                  |                  |
|-----------------------|---|---------------|---|------------------|------------------|
| [妥当性]事業のニーズはあるか       |   | 増加している        | ○ | 横ばい              | 減少している           |
| [妥当性]事業手段は妥当か         |   | 現行の手段でよい      | ○ | 一部見直しが必要         | 見直しが必要           |
| [妥当性]官民の役割は妥当か        |   | 市が行うべき        | ○ | 他の主体との協働も可能      | 市が行う必要性は薄れている    |
| [妥当性]緊急的に取り組む必要はあるか   |   | 急いで取り組む       | ○ | 中長期的に取り組む        | 緊急性は薄い           |
| [有効性]更に効果が期待できるか      |   | できる           | ○ | あまりできない          | できない             |
| [有効性]成果目標はどの程度達成しているか |   | 達成している(90%以上) |   | おおむね達成(70~90%未満) | ○ 達成していない(70%未満) |
| [効率性]事業費を抑制できるか       | ○ | できない          |   | 制約はあるが可能性はある     | できる              |
| [効率性]受益者負担の見直し        | ○ | 適正            |   | 負担は求められない        | 見直しが必要           |

5 事業の方向性

|     |                                     |  |                                 |
|-----|-------------------------------------|--|---------------------------------|
| 方向性 | A 計画どおり事業を進めることが妥当                  | B 1 事業の充実に向けた見直し   | 担当課評価 (所属長記載)<br><br><b>B 1</b> |
|     | B 見直しのうえで継続<br>C 終了<br>D 休止<br>E 廃止 | B 2 コスト削減・成果上昇<br>B 3 類似事業との統合<br>B 4 外部委託導入・拡大<br>B 5 受益者負担の適正化<br>B 6 終期設定<br>B 7 その他効率化 |                                 |

|  |   |
|--|---|
| 担当課評価の根拠                                   | 商業団体が実施する商業活性化、地域コミュニティ機能の強化のためのイベント等に助成を行ったが、本市商業の活性化には継続的な支援が今後も必要と考える。   |
| 「見直し」<br>「改善」案<br><br>※上記、担当課評価が「B」評価の場合のみ | <ul style="list-style-type: none"> <li>・商業団体が実施する集客、賑わい促進を目的とするイベント事業の補助率を1/2に変更。2団体が合同で実施する場合の上限額を50万円に変更。</li> <li>・商業団体が空き店舗を借り上げ、新規開業を促進する家賃補助の対象を、商業団体と個人に拡大し、限度額をひと月3万円に変更。また、区域を中心市街地外から中心市街地を含む商店街内に変更。</li> <li>・商店街組合が実施する新規事業やイベントに対し、補助率1/2 上限額50万円を新たに追加。</li> </ul> |